



宮城 寛諄 議員

小中学校へ 空調整備の充実を 答 実施計画で要求を行う

問 今年の夏の小中学校教室の温度はどうであったか、例年と比べてどうなのか。

教育長 各棟、各階の調査をし、全校の平均気温は31・6℃であった。最高気温が34℃の教室が多く前年度より教室温度は高くなっている。

問 一刻も早く空調を整備をすべきではないか。

教育長 実施計画で要求を行う。

問 本町の小学校4校の空調整備は近隣市町村と比較して最低の6%、中学校は15%となっている。7月末現在、17人が体調

不良を訴えたと新聞報道があった。詳細を説明せよ。

教育部長 17人は1校分である。幼小中合計で暑さによる体調不良と思われる児童生徒が115人となっている。

問 実施計画に乗せるとあったが、そんな悠長なことではないと思う。前倒しでやるべきだ。子どもたちは、暑い中で体調不良を訴えている児童生徒もいると報告があった。そのままにしておくのか。

町長 見直すべきところは見直して教育委員会と連携していきたい。

町独自の水道事業を

問 南部水道事業団を解散し町独自の水道事業をしようか。

副町長 南部水道企業団のメリット、デメリットがある。旧大里区域が脱退した際の事例からすると多岐にわたる費用が発生すると予想される。町独自にするには詳細な資料をそろえ慎重に検討する必要がある。

当間橋下流11号線の 進捗は

問 通学路として歩道やガードレール等の安全確保はできているか。

副町長 当間橋下流11号線は、河川管理道路を兼ねていることから、車道と歩道の間にはガードレールはない。歩道はカラー舗装する。



町道11号線の現在の様子。河川側は歩道としてカラー舗装されています。